

名句のパロディ その18 (秋)

- あかあかと日はつれなくも秋の風 (芭蕉)

～ あかあかと火煙り上がるガザの街

- 石山の石より白し秋の風 (芭蕉)

～ 墨汁の墨より黒し某の腹

(某とは競馬狂の収賄代議士のこと)

- 秋の夜や古き書読む奈良法師 (蕪村)

～ 秋の夜やテレビの前でコックリコ

- しずかさや湖水の底の雲のみね (一茶)

～ 騒がしやいつも人混み吉祥寺

- 秋の蚊のよろよろと来て人を刺す (子規)

～ 今の蚊は元気一杯人を刺す

(今年は夏が暑過ぎたので、秋になって元気になつた由)

